



幼馴染みは気になっている。

覗き？

なんか最近夜風呂とか
部屋とか覗かれてる
気がするんだよ...

え〜...



アンタのこと覗く
物好きがいるとは
思えないけど...

いやそうだろうけどさ
なんか気味悪いんだよ

相変わらず
ビビりだな

それとは
別なんだよ!



覗きが怖いなら
ウチ来てもいいよ？
一緒にいてあげる

余計なお世話だよ！

遠慮しなくても
いいのに

そんな事気にしてないで
部活に集中したら？
大会近いんだし

うっ…
それはそうだけど

ほら
トボトボ歩いてると
遅刻するよ？

あ、ちょっと
待てよ…！！

朱里とは家も隣同士で
幼い頃からいつも一緒に
幼馴染みだ。
何でも話せる関係だけど
今の話は色々と
ネタにされそうだ…。



はあ…やっぱり
気にし過ぎなのか

夜、風呂に入っていると
窓の外に気配を感じた…



朱里・・・お前だったのか

.....



俺の事覗くような物好きは
いないって言ってたよな？

…だって私は太一の事
気になるもん…

なんでだよ

昔からだけど俺の部屋に
来ると妙にしおらしく
なるんだよな…朱里

それにこの目は
マジだな…

だってお風呂も
お泊りもないし…

子供の時じゃ
ないんだから

それで太一が部活の時とか
水着がその…気になって
昔と違うのかなって

部活中も覗いてんじゃねーよ
て、ことは俺が見たいと…

…うん



ほらよ

…わあ

ガキ

朱里にチ○コ見られるなんて
本当にガキの時以来だな…

ガチガチに勃起してるのを
まじまじと見られて
滅茶苦茶恥ずかしい…

ガキ



触っていい？

…ああ

うっ

あ…痛かった？

いや、大丈夫

おつきくて温かい…
子供の時と全然違うんだね

ま、まあな…

ぎゅっ…

ドキ…

ドキ…



な、舐めてみてもいい？

…本気か？

本気だよ

んっ♡

んっ♡

もう好きに
してくれ…

うん

…ちよっと
しよっぱい♡

朱里が俺のを…
すごい光景だ。

夢じゃないかな？



太一のおっきくて
全部は無理だけど...

頑張るね♡

朱里...っ

ちょ...おい!
そこまでなくても
いらって...!!

私がしたいんだから
いいの...

子供の頃ふざけて
キスしたりしてた
あの口で...!!





どう上手に
出来る？

ああ…すっげえ
気持ちいい…!!

よかった…♡

んっ♡

ちゅっ♡

んっ♡

ちゅっ♡
ちゅっ♡

朱里…俺
もう…っ!

いいよ太一♡

こんなの…こんなの
我慢できるわけない…!!

んっ♡
っ♡
っ♡
っ♡

んっ♡
っ♡
っ♡
っ♡



朱里っ！
あああっ！

んぐ…♡

んっ…♡

んぐ…♡

ごめん…このまま
出すから！

きて♡太一♡
ちょうだい♡

ビュ

ビュ

ビュ
ビュ
ビュ

ビュ
ビュ
ビュ



朱里…そんなに
吸われたら…ああ！

どんどんぽんぽん♡

ふっ♡

ふっ♡

♡ふっ♡

♡ふっ♡

♡ふっ♡

♡ふっ♡

♡ふっ♡

♡ふっ♡



全部飲んじやった…♡

はぁ…♡

はぁ…♡

そんな無理
しなくても…

太一のだもん
平気だよ♡

朱里…

あー♡♡

ドゥ…♡

ドゥ…♡

で…きっかけは
何なんだよ？

太一ってば水泳部入ってから
身体ガッチリしてきたでしょ？
それで気になっちゃって…

だったら朱里だって
最近胸とか体つきが…
その…すごいぞ？





...ええっ!!

!?

太一も私の事
気になるんだ...

まあ...その
俺だって男だからな



太一が好きに
していいって
言ってくれたから...

私のことも好きに
していいよ...♡

朱里...

でも優しくしてね♡

ん...♡

ん...♡

ん...♡

ん...♡





朱里…

もう我慢できなくて
気が付いたら朱里の
唇を奪っていた…。

こうして
キスするのも…

久しぶりだね…
嬉しい♡

いつも太一の方
からチューして
くれてたよね

朱里の事
好きだからな…

幼い頃はお互いに好きだって
言い合ったりキスしたりして
ふざけて遊んでたっけ…



こっちも
見たい…

うふふ♥

ほあ♥

ほあ♥

あっ…♥

グアッ…



おお…

どう?
変じゃない?

あ…♡

ん…♡

ん…♡

ん…♡

変なもんか

もう恥ずかしい事
言わないでよ…♡

見せ合いつことかしてた時は
なんとも思わなかったけど
すごい綺麗だ…



うわ…朱里
これスゴイぞ

もう…
見せなくても
いいって♡

あ…♡

太一だってガチガチに
勃起してたクセに…

仕方ないだろ…

お互い様だね♡

た…た…



ということ
俺も舐めるからな

ああん♡もう！
いきなり!!

ああん♡

朱里の味がする...

ああ!...もうこれ
恥ずかしすぎるって!!

ビク

ビク

アッー...



自分だって散々俺の舐めまわしてただろ？

そ、そうだけども...

気持ちよくないのか？

ふふ...

あーっ...

あーっ...

太一が舐めてくれてるんだもん
気持ちよすぎてどうにか
なっちゃいそうなの...

あああああ♥

はー...

ふふ...

はー...

ふふ...



…太一♡

はあ…♡

はあ…♡

…いいよな？

俺だってそうだよ…
朱里のために頑張るから

私、初めてだから…

ドゥ…♡

ドゥ…♡

ドゥ…♡

ドゥ…♡

クチャ…♡





うっ……うっ……

朱里……大丈夫か!?

はあ……♡

はあ……♡

うん……大丈夫……

大好きな人と
繋がれたんだもん
嬉しくって……♡

俺だって……
朱里のこと大好き
だから嬉しいよ

太一……♡

もう俺たちはただの
幼馴染みじゃない……
やっとお互いの
気持ちを素直に言えた。

ギュ……♡

ドッ……♡

ドッ……♡





あああつ！
朱里の膣中気持ちいい！

私も♡太一の熱い♡
幸せで気持ちよくて…
頭フワフワしちゃう♡

太一♡もっと♡

ああん♡

あ♡
あん♡

ああ♡もう私…
イっちゃいそう♡

俺も…もう出そうだ！
一緒にイこう！朱里！

ドッ…♡

ズン♡

ズン♡

ズン♡

ズン♡

ドッ…♡





あっ…溢れてきた♡

すっげえ出た…
自分でびっくりだ

気持ちよかったもんね♡

ああ…すごく

はあ…♡

はあ…♡

だから…

もっと♡

UO…♡

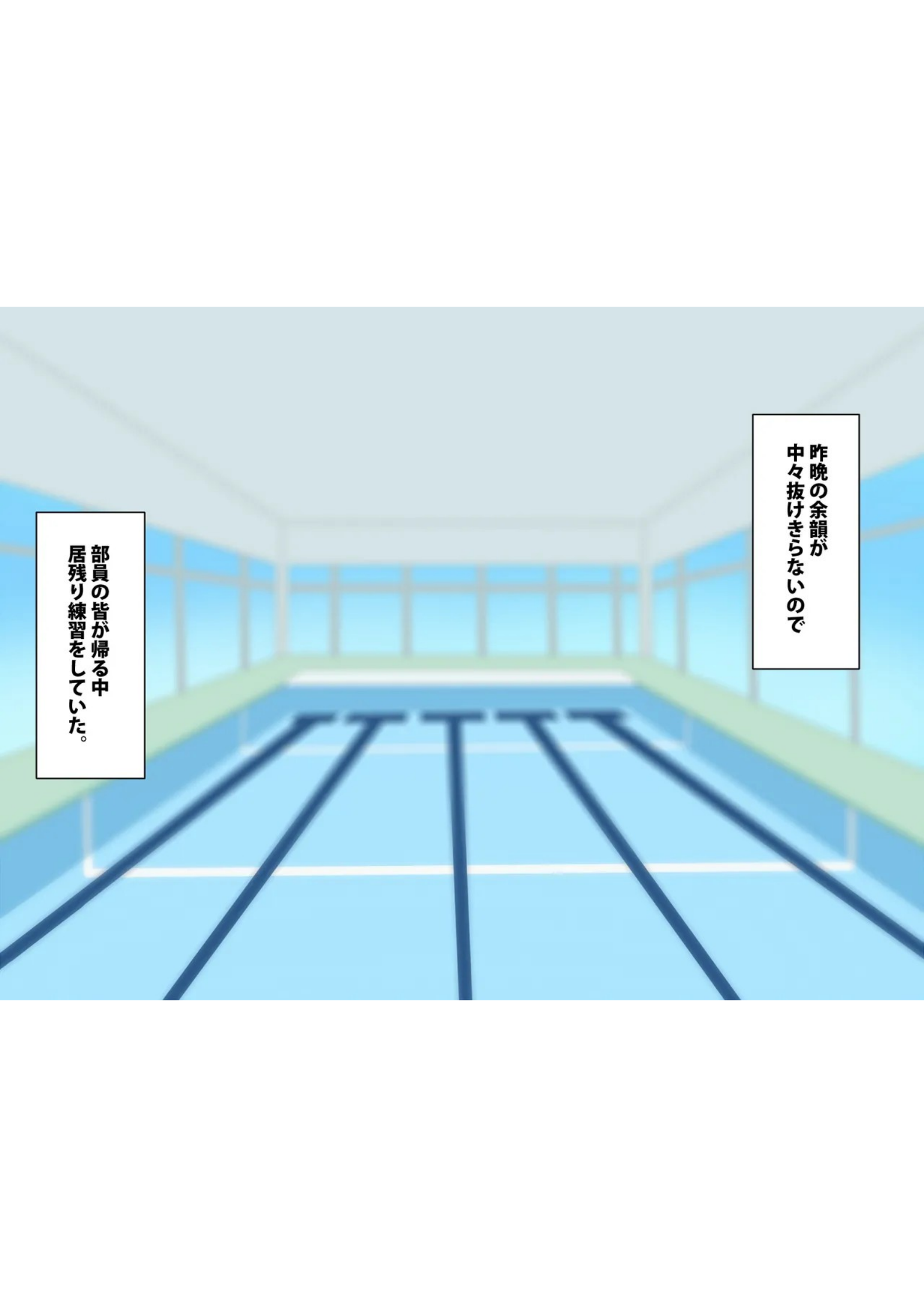


ああんっ♡

朱里っ！

ガ
バ
ッ

もう夢中で一晩中エッチした。

The background of the page is a perspective view of an empty indoor sports hall. The floor is a light blue color with several dark blue lines running down the center, suggesting a basketball court or a similar sports area. The walls are a light grey color, and there are large windows along the sides and the far end, letting in bright light. The ceiling is a light blue color.

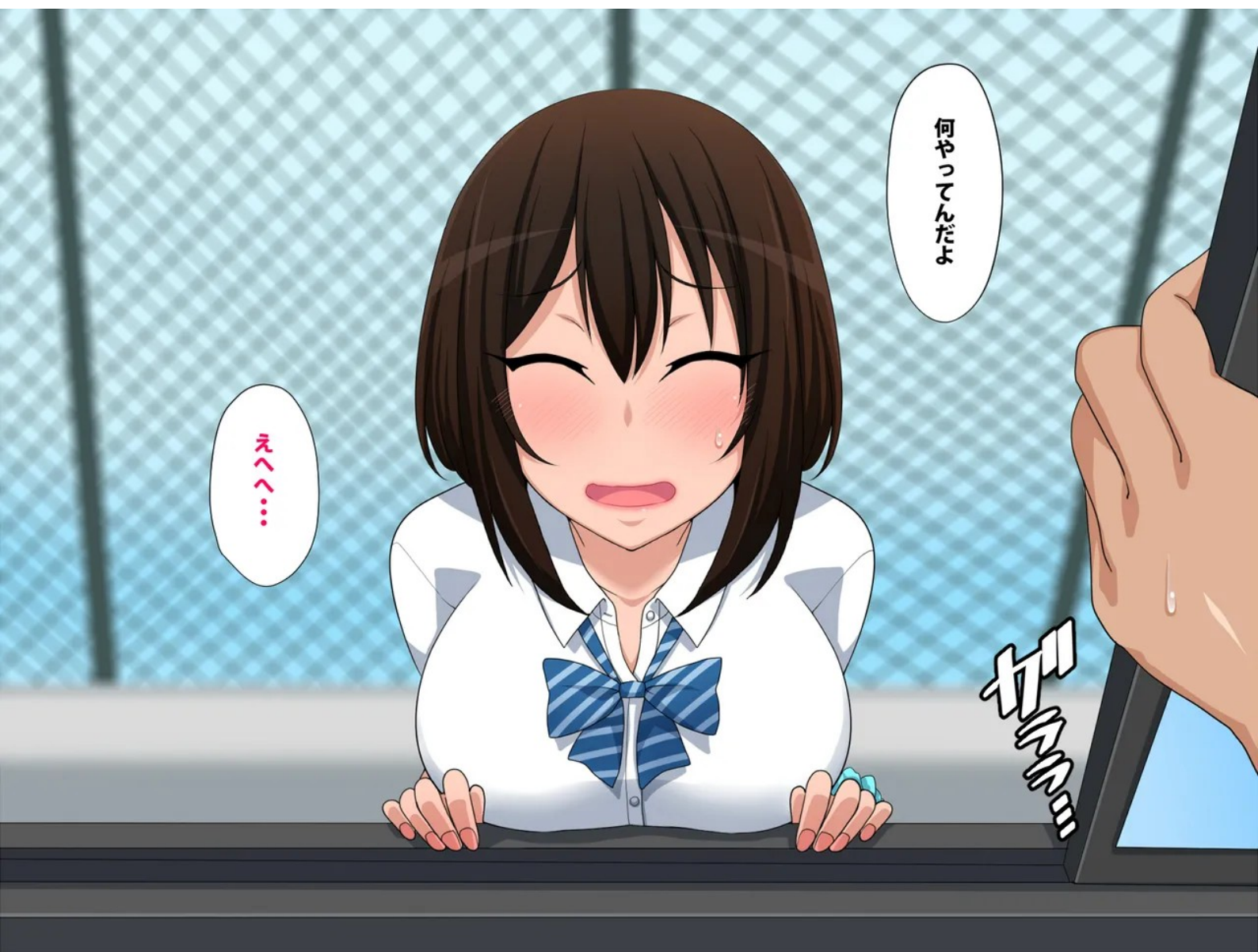
昨晚の余韻が
中々抜けきらないので

部員の皆が帰る中
居残り練習をしていた。

朱里のやつ家で
待ってるかな…

さっさと帰るか

…ん？



えへへ...

何やってんだよ

ガクガク...





いつから
覗いてたんだよ…

部活の始めから♡

まだ覗き足り
ないのかよ

だって太一のこと
気になるんだもん♡

それに誰もいないから
そのままエッチできる
かなって…♡

はあ…♡

あ…♡

やっ♡

やっ♡

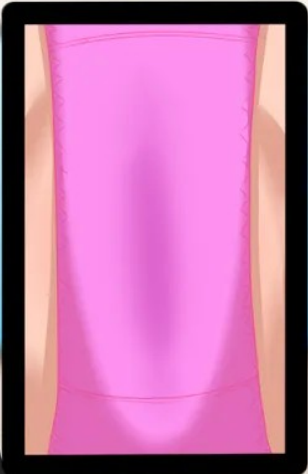
トクン♡…♡

トクン♡…♡



おっぱいでして
あげようかなって
待ってたんだから♡

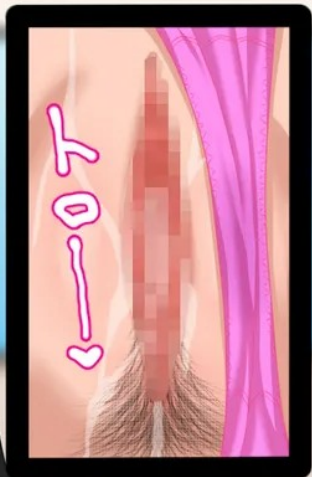
鍵かけてれば
大丈夫だって



お、おい…
ホントにこごで
すんのかよ



ちよっと...私が
してあげてるのに
やめてよ



朱里ベツトベツトに
なってるぞ？

俺の方にケツ向けとして
何言ってるんだよ
うう...

んっ...

んっ...
んっ...

ぎゅっ♡
ぎゅっ♡
ぎゅっ♡

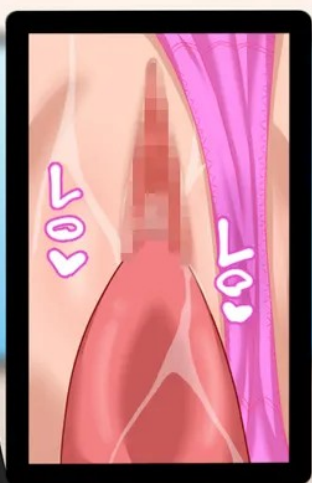


だから
感謝してよね♡

ホントかよ

でしょ♡でしょ♡
太一のために育てた
お乳なんだからね♡

すっげー気持ちいい



それでおっぱい
どうなの？

んっ♡
んっ♡
ふっ♡

たっ♡
たっ♡
たっ♡

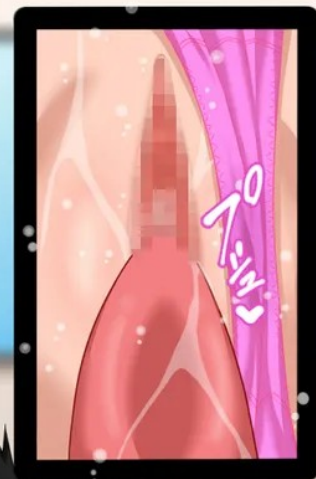


あっ♡

あんっ♡

イクぞっ！

じゃあ遠慮なく
朱里の胸で…





はあ...♡

はあ...♡

軽くいったただろ

もつとちゃんと
イキたかったの！

じゃあ次はちゃんと
一緒にイイクか...
ほら、立って立って

うん♡

もろろ...一緒に
イキたかったのに...



あっ...ああ!
朱里の腹中ドロドロで
蕩けてすごいぞ!

太一もさつき
出したばっかなのに
ガチガチで熱いよ♡

あ...♡

あ...♡

二人でいっぱい
気持ちよくなるっ♡

ズググ...♡



じゃあ...
もう一気にいくぞ！

うん♡きてっ♡
きてえ♡

パ○

パ○

ズー♡

パ○

おい♡
あー♡

あー♡
あー♡

ああん♡深いっ♡

太一すごいよお♡



ああんっ♡太一っ♡
すごい♡奥っ♡ああんっ♡

まだまだ
いけるぞ！

ああんっ♡そんな…
押し上げられてる♡
ふあ♡ああんっ♡

はっ♡
ああんっ♡

あっ♡キてる♡
きちゃう♡すごい♡
きちゃってる♡

今度は思いつきり
二人でイクぞ！

うん♡イク♡
太一といっしょに♡

ズン♡
ドッ♡

ズン♡

ドッ♡

ドッ♡

ズン♡

ズン♡

ズン♡

ドッ♡





すげー勢いで
潮吹いたな…

私もびっくり♡
太一のおち○ちん
気持ちよすぎ♡

ちゃんと思いつきり
一緒にイケたな…

うん♡でも…

もっ…もっ…
エッチしたい♡

は…♡

は…♡

ド…♡

ド…♡

ド…♡



あぁっ♡後ろもいいけど
下からもズンズン好き♡
気持ちいいよぉ♡

お前…俺の部屋以外だと
ホントぐいぐいくるな！

もーいいでしょ♡
太一の部屋だと
ドキドキして
緊張しちゃうの♡

何だよそれ
わかんね！…

あっ♡
あぁっ♡

はっ♡
はぁっ♡

分かんなくていいの！

えいっ♡

うおっ!!

ズン♡

ズン♡

ズン♡

ズン♡



うん♡イクっ♡イクイク♡
さっきよりもすごいのっ♡

あっ♡
あん♡

はあ♡
はっ♡

いいぞ！さっきよりも
吹かせてイカせてやる！

ああっ♡はあっ♡
いいところ当たる♡
もう腰が止まんない♡

あああ♡くる♡
またきちゃう♡
お潮出ちゃうっ♡

ズン♡
ズン♡
ズン♡

パニ♡
パニ♡
パニ♡

パニ♡

ズン♡

ズン♡





はぁ飛んだ飛んだ
気持ちいいっ♡

ああ…びっくりした
顔まで飛んできたぞ

あはは…ごめん

はぁー♡

はー♡

でもこんなに気持ちよく
イってくれたから嬉しいよ

もうなんか
変態みたい♡

お前が言っな

ふふ♡

ぐっ♡
ぐっ♡
つぽ…♡

その夜…

昼間あれだけエッチしたのに
朱里のことが気になって…
俺は朱里の部屋を覗いていた。

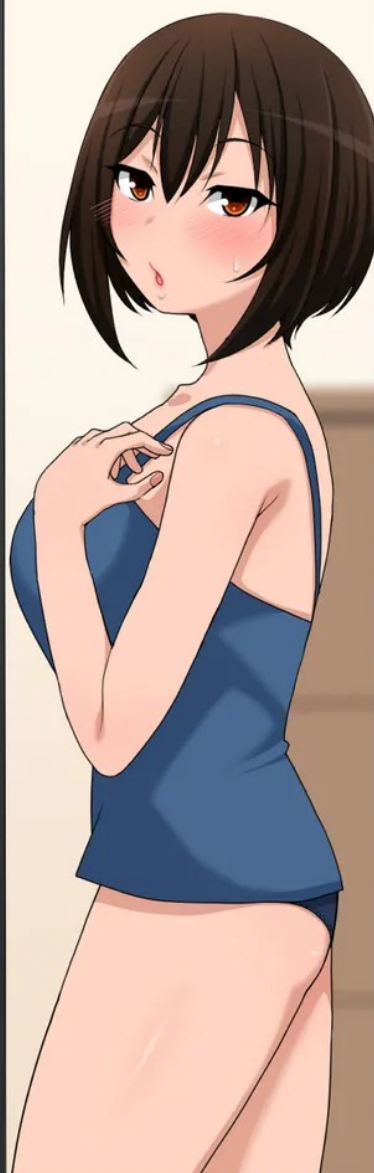
何してんの？

っ!?

何
も
も

バレたか？

バレバレだけど



なに自分も
覗いてんのよ…

朱里のことが
気になってさ…

もう…
入って♡



悪かったよ...

もう...こんなにして♡

エッチしたいなら
素直に言えればいいのに

んっ♡
んっ♡

ずっ♡
ずっ♡



袋もこんなに
パンパンにして♡

うおっ!?ちよ…
それ反則…っ!

ん♡

ん♡

ん♡

ん♡

ん♡

ん♡

ん♡

ほらほら出し
ちやいなさいよ

お…おい…
朱里…っ!



玉袋ドクンドクン
精子送ってる...すごい♡

あぁっ...もう出る...

んんう♡

ドクンドクン
ドクンドクン
ドクンドクン
ドクンドクン



どんどん出てくる…♡
太一ってばちよつと体力
持て余しすぎじゃない？

しょ、しょうがないだろ
気持ちいいんだから…

しっかり搾り取って
おかないかね♡

お……お……お……

んっ♡

ふっ♡

すっ♡

ちゃ♡

ゴッ♡

ゴッ♡

ぎゅっ♡



んっ…ああ…♡
ホント全然萎えないね♡

結構マジで搾り取って
みたんだけどなあ…

はあ…♡

はあ…♡

♡
♡
♡
♡
♡

ビ
ン
ビ
ン
ビ
ン

朱里といっぱい
エッチしたいからな

しょうがないなあ…♡



何だかんだ言ってお前も
胸中トロトロに濡らして
んじゃないかよ

ほっ♡

あっ♡

あっ♡

だってえ♡

私もエッチ
したいんだもん♡

ふっ♡

ズッ♡

ズッ♡
ズッ♡...♡



おおおっ！

あっ♡

あぁっ♡

あぁん♡
くっつけるの好き♡
やばい♡

あぁん♡

太一♡もっと
力いっぱいきて♡

あぁっ！いいぞ！
思いっきりイかせてやる！

あぁん♡好き♡
またイっちゃう♡
イク♡イク♡

ドッ♡

ズッ♡

ズッ♡

ズッ♡

ドッ♡

ドッ♡





くっ...おおっ!

ああああ...♡

ふああああ♡

は♡

は♡

ああ...♡

ズプッ

ッ♡

ッ♡



あっ♡そこ好き♡きくっ♡
おま〇こキュンキュンキてる♡
クセになっちゃう♡

はっ♡ああっ♡
すごい波きた♡

でもでも…好き♡
おち〇ちんマッサージ好き♡

ああっ♡おち〇ちん重い♡
おま〇こ潰れちゃうよお♡

ふっ！ふん！
次はゆっくり
じっくり行くぞ！

グッ♡グッ♡
グッ♡グッ♡

ズン♡ズン♡
ズン♡ズン♡



太い♡

朱里っ……!
ぐっぐっ!

ふっふっ♡

ぐっぐっ♡
ぐっぐっ♡
ぐっぐっ♡

ぐっぐっ♡

ぐっぐっ♡

ぐっぐっ♡

ぐっぐっ♡

ぐっぐっ♡

ぐっぐっ♡

ぐっぐっ♡



太一のあったかいの...

はっ♡

は...

は...

はっ♡ああっ♡

朱里っ! 朱里っ!

ドッ...

ドッ...

ドッ...

はっ♡

はっ♡

はっ♡



はあ♡ああ♡♡
太一♡好き♡好き♡

俺だって…はあっ！
朱里…大好きだ

ヘトヘトになりながら
お互いの身体を絡ませ合う。



たいちい…♡

好き♡しゅき…♡
らしいゅき♡

♡…めめめめ♡めめめめ♡

♡めめ♡

♡めめ♡

めめ

めめ

めめ

めめ

めめ



んっ♡♡♡んっ♡♡♡んっ♡♡♡

んっ♡♡♡んっ♡♡♡んっ♡♡♡

んっ♡♡♡んっ♡♡♡んっ♡♡♡



はあ...はあ...
さすがに疲れたな

はあ...
はあ...

もう...飛ばしすぎ♡



夜はまだまだ
長いんだよね?

分かってるよ...
朝まで寝かせて
やらないからな

こわい♡

ぐもっ♡

ふふ...

END

























































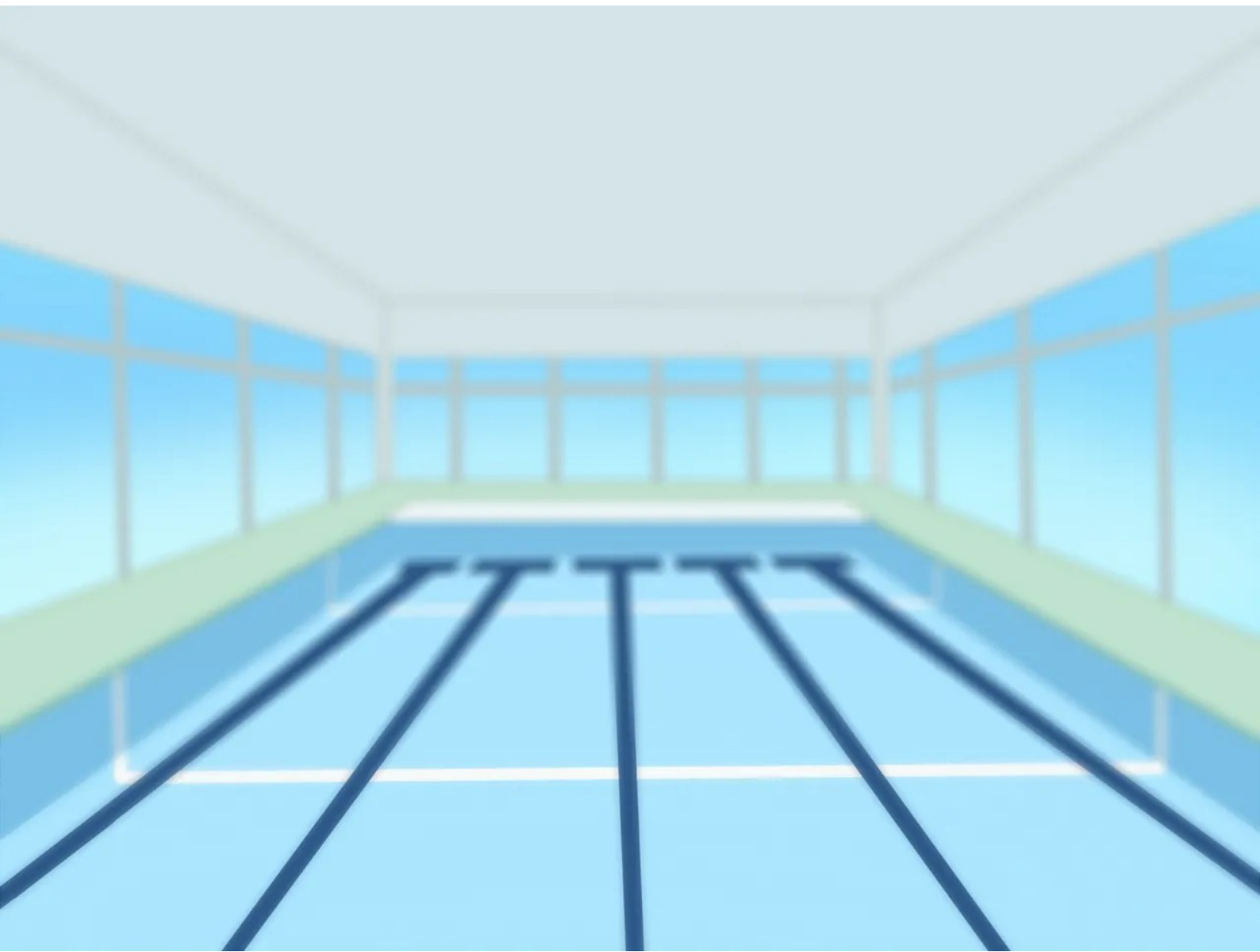


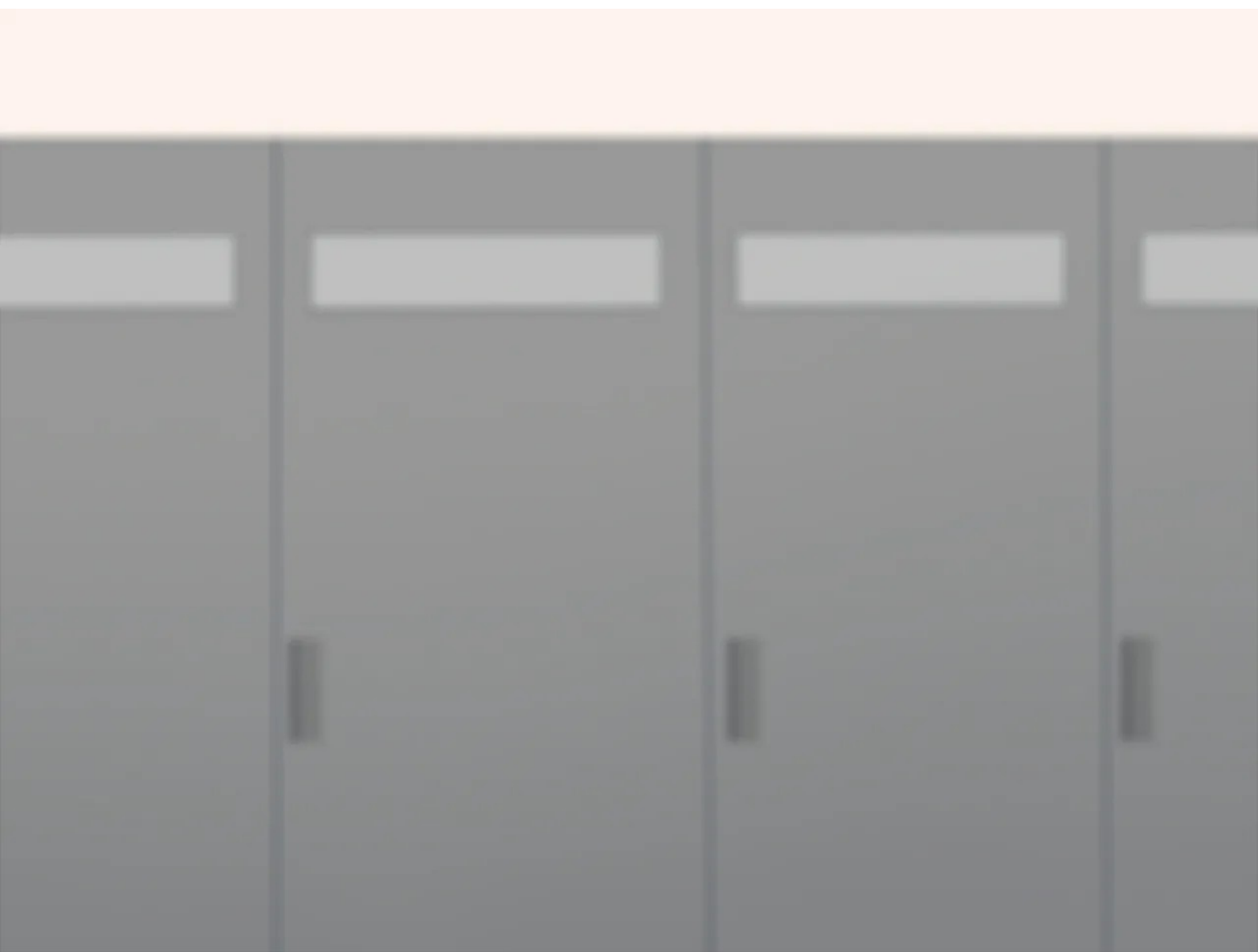




































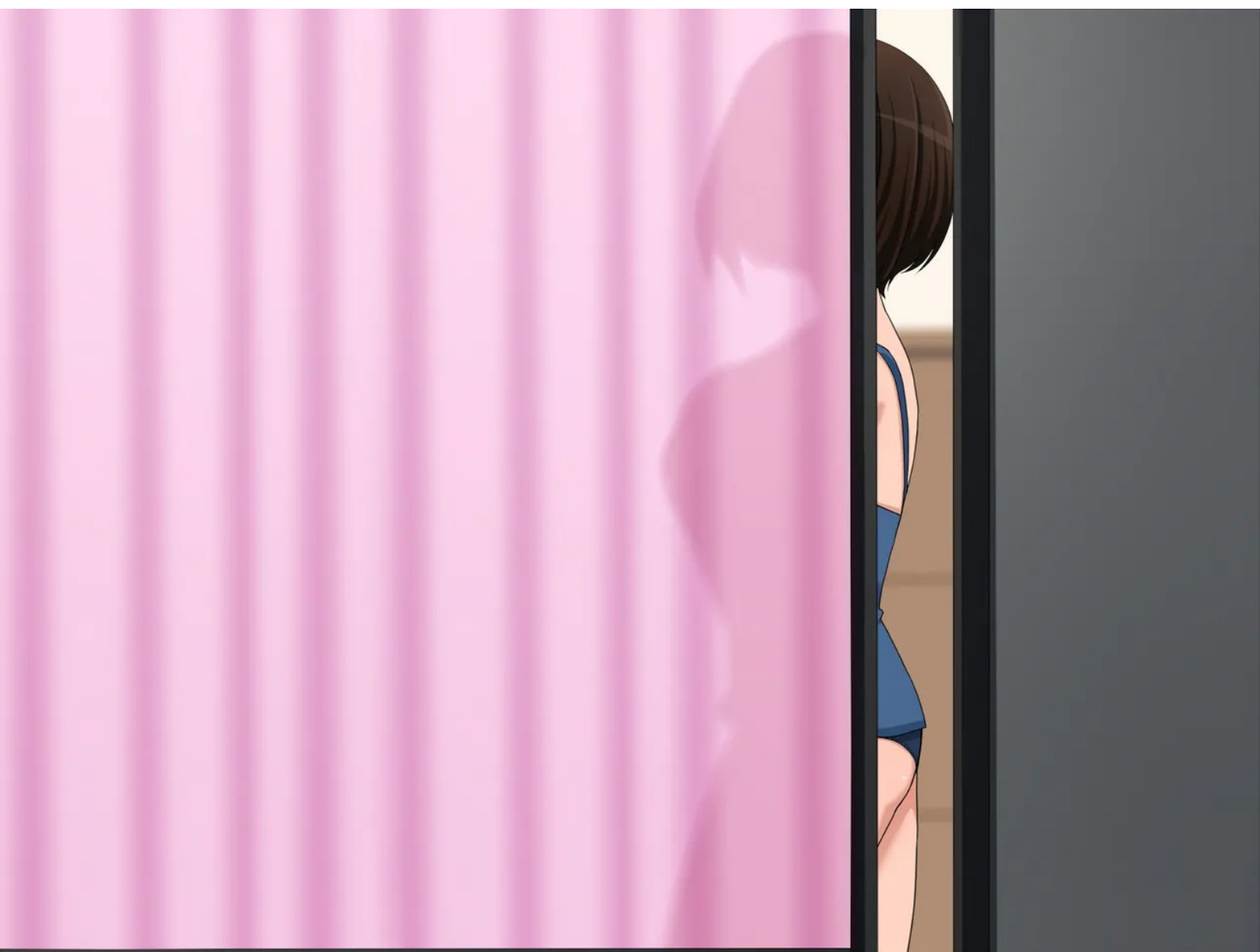
















































この度はきつね屋根の作品をご購入いただきありがとうございます。とつございます。

この作品はフィクションです。

作品の閲覧には画像ビューア等のソフトをご使用ください。

この作品でお楽しみいただければ幸いです。



今後とも当サークルの作品をよろしくお願いします。

製作：きつね屋根

二〇一九年五月